

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和5年度事業経過報告公表資料

基本目標1	村の資源を活かした新たな雇用を創出する			R6KPI	R2	R3	R4	R5	R6	R2~R5合計	達成率(%)
数値目標	5年間で、30人の雇用の場の確保を目指す(第1期実績20人)			30	3	6	13	14		36	120
	委員からの意見：特になし										
		単位	R6KPI	R2	R3	R4	R5	R6	R2~R5合計	達成率(%)	
(1) 起業・第二創業等の支援											
創業相談件数	件数		30	0	0	2	3		5	16.7	
	委員からの意見： 相談件数が少なく感じられ、創業相談については、大きい物から小さい物まで幅広く拾うことで、もう少し相談件数があるのではないかと推測される。										
起業・第二創業及び村外からの事業者の誘致件数	件数		15	0	0	3	3		6	40.0	
	委員からの意見： 実績値から創業等のハードルが高く、KPIの件数を見直す必要がある。										
(2) 農林業の基盤整備と6次産業化の支援											
遊休農地・耕作放棄地の活用面積	ha		2.00	0.10	0.10	0.10	0.10		0.40	20.0	
	委員からの意見： 実績値が思うように伸びておらず、活用面積が必ずしも基本目標1の達成に結びつくとは言い難いと感じることから、項目を見直されたい。										
新たな特産品の開発	件数		18	5	2	2	3		12	66.7	
	委員からの意見： 特になし										
直売所の農産物販売額	万円/年		2,000	675	897	903	750		806	45.2	
	委員からの意見： 特になし										
企業の森の整備面積	ha		10	2.3	1.6	2	9		15	145.0	
	委員からの意見： 特になし										
農林業の担い手の育成数	人		5	1	2	2	2		7	140.0	
	委員からの意見： 特になし										
都市農村交流人口の増加（H30年度時点200人を基準）	人		+200	56	42	278	394		193	139.0	
	委員からの意見： 特になし										
農林業を獣害から防ぐための猟友会員の増加（35人に対して、各年度での数値の増減）	人		35	-4	1	-1	0		-1	97.1	
	委員からの意見： この項目の達成が基本目標1の達成に結びつくとは言い難い。										

基本目標2	観光の振興による交流人口の拡大を図る			R6KPI	R2	R3	R4	R5	R6	R2*R5合計	達成率(%)
数値目標	平成30年を基準として観光入込客数の1割増加を目指す			242,143	148,199	162,212	170,713	190,627		167,938	78.7
委員からの意見：項目として道の駅の利用者やテレワーク施設の利用者なども入れ、交流人口を厳密に測定すべきである。											
		単位		R6KPI	R2	R3	R4	R5	R6	R2*R5合計	達成率(%)
(1) 豊かな自然環境と地域資源を生かした新たな観光産業の創出											
	新たな観光商品の開発	件数		30	5	2	3	3		13	43.3
委員からの意見：完成品のみの実績値とすると、厳しいと感じるため、試作品なども実績値として良いのではないかと。											
	村内キャンプ場の利用者数	人/年		10,000	5,276	6,978	7,754	7,743		6,938	77.4
委員からの意見：コロナ禍を経て、数値は落ち込んでいるが、県内のキャンプ場において苦戦している所もあり、村内においては善処している。											
(2) 丹波山ファン獲得のための情報発信											
	村及び観光協会ホームページビュー件数	件/年		557,000	446,042	453,778	475,216	532,156		476,798	95.5
委員からの意見：HP内での動きの把握、次期計画ではSNSを活用が分かる項目も入れるべきである。											
(3) 観光基盤の整備と観光拠点の充実											
	村内 山小屋の利用者数	人/年		4,800	3,266	4,257	3,714	4,312		3,887	89.8
委員からの意見：特になし											
	温泉施設「のめこい湯」の利用者数95000人/年	人/年		95,000	41,462	38,600	51,713	65,247		49,256	68.7
委員からの意見：近隣の温泉施設の利用者数も調査し、目標数値を設定すべきである。											

基本目標3	首都圏からの移住・定住促進									
数値目標	令和元年を基準として、転入者数2割増加を目指す（R1時点51人のため目標62人）令和5年度時点138人（新規移住者数と同義）									
委員からの意見：特になし										
	単位	R6KP1	R2	R3	R4	R5	R6	R2^R5合計	達成率(%)	
(1)都市との交流推進と移住情報の発信										
	新規移住者数	人	62	49	20	40	29	0	138	222.6
委員からの意見：新規移住者数の他、人口の定着などわかる数値を測定すべきであ										
(2)U・Iターンの促進										
	子育て世帯の移住者数	人	30	10	4	12	15		41	136.7
	地域おこし協力隊任期終了後の村内での定着率	%	75	75	69	53	60		64	80.0
	村出身学生等のUターン就職者数	人	3	3	3	2	0		8	266.7
委員からの意見：特になし										
(3)移住・定住に向けた受け入れ体制の整備										
	空き家バンクの登録数	件	10	0	1	3	0	0	4	40.0
	空き家利用件数	件	10	0	0	2	2	0	4	40.0
委員からの意見：空き家の利活用が進まない原因は理解できるが、移住需要に対して、空き家の利活用は急務であると感じる。										

基本目標4	若い世代が安心して子育てできる村づくり	単位	R6KPI	R2	R3	R4	R5	R6	R2~R5合計	達成率(%)
数値目標	令和元年を基準として、子育て世帯の2割増加を目指す	世帯	27	4	2	5	6		17	63
委員からの意見：数値目標の記載の仕方が分かりづらい。										
		単位	R6KPI	R2	R3	R4	R5	R6	R2~R5合計	達成率(%)
(1)結婚適齢期の男女の出会いの機会提供										
	村内定住結婚件数	件	3	0	1	1	1	0	3	100.0
委員からの意見：特になし										
(2)出産や子育て支援の充実										
	子育て世代への相談窓口周知度	%	100	100	50	60	70		70	70.0
	乳幼児健康診査の受診率	%	100	90	100	91	100		95	100.0
	産前産後ケアセンター利用者の満足度	%	80							0.0
委員からの意見：特になし										
(3)学校教育内容の充実と教育環境の整備										
	学校に行くのが楽しいと思う児童・生徒の割合	%	90	84.0	86.4	85.0	75.0		82.6	83.3
委員からの意見：特になし										
(4)これからの村づくりを担う人財の育成										
	総合型地域スポーツクラブ「タバスキークラブ」員数	人/年	50	0	0	12	15		7	30.0
	村民学習講座「清流学習会」の講座数	講座(延べ)	20	0	0	0	2		2	10.0
	ささら獅子舞伝承者数	人/年	60	56	56	73	62		62	103.3

委員からの意見：この項目が基本目標の達成に資するとは言い難い。また、高校進学時の人口流出を防止する施策があると良い。

基本目標5	生涯健康で安心して暮らせる村づくり									
数値目標	村民の満足度向上を目指す 70%以上 最終年度測定									
委員からの意見：目標値に医療費の数値等入れ、測定することが必要ではないか。										
	単位	R6KPI	R2	R3	R4	R5	R6	R2~R5合計	達成率(%)	
(1)保健・医療の充実										
	特定保健指導対象者減少率 20%減	%	20	50	50	19	10	32	50.0	
委員からの意見：特になし										
(2)高齢者の生きがいづくりと社会参加										
	丹波山村に住み続けたいと思う人の割合 70%以上	%	70						未測定	
	75歳以上に占める要介護者の割合	%	20	18.5	22.9	18	23	21	115.0	
委員からの意見：要介護者の割合とすると厳しい場合もあるため、要介護度で分けて測定しても良いのではないか。										
(3)認知症サポーター養成講座の開催										
	認知症サポート養成講座の受講者数 延110人	人	30	3	15	9	5	8	106.7	
委員からの意見：特になし										
(4)介護サービスの充実										
	デイサービス利用者数 延1,500人/年	人/年	1,500	1,359	934	1,098	1,023	1,104	68.2	
	ホームヘルプサービス利用者数 延130人	人/年	130	0	0	0	0	0	0.0	
ホームヘルプサービス未実施										
	デイサービス・ホームヘルプサービス利用者の満足度 80%以上	%	80	83					0.0	

委員からの意見：(2)では要介護者を減らす取り組みであるのに対して、こちらではサービスの利用者数を増加させることを目的としており、整合性のある目標値にすべきである。